

平成 18 年 1 月 30 日

総合科学技術会議知的財産戦略専門調査会
会長 阿部博之 殿

武田薬品工業（株）
秋元 浩

第 27 回 総合科学技術会議 知的財産戦略専門調査会への私見

今回の第 3 期科学技術基本計画でライフサイエンスが「政策課題対応型研究開発における重点化分野」に引き続き挙げられたことは、喜ばしいことであり、バイオテクノロジーという研究開発に資金と時間の掛かる分野の重要性を認めていただいたことと感謝致します。

しかし、具体的施策に、ライフサイエンスを進める上で重要な課題である「ライフサイエンス分野における遺伝子を中心とするリサーチツール特許の円滑化」と、「先端医療技術の特許保護のあり方」に関する特許問題が記載されておられません。

前者は、ライフサイエンス分野の「創造・保護・活用」の知的創造サイクルを大きく回すという点において解決していかなばならない重大な事項であります。現在、知的財産戦略専門調査会ワーキンググループ及びプロジェクトグループで「政府資金を原資とする場合のガイドライン」策定が検討されていますが、バイオ産業界にとっては主体でありえず、また産学連携や共同研究を促進するという点においても早急に解決すべき課題であります。一方、後者は今後の国民の健康・福祉に直結する問題であり、今後とも議論を進めることが大切であると考えます。

総合科学技術会議知的財産戦略専門調査会は、大学等をベースとした科学技術の創造の結果を適切に保護し、社会全般に還元するための知的創造サイクル施策を推進するところと考えます。

是非とも上記 2 点を「今後の主要課題」として取り上げ、引き続き検討して頂きますようお願い致します。